

感染症週報〔市内週報 平成25年第33週〕

感染症発生動向調査

平成25年8月20日

平成25年第33週感染症発生状況【川崎市内】

平成25年8月12日～8月18日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届 出	累計(平成25年第1週以降)
<p>第33週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)ヘルパンギーナ 3)感染性胃腸炎 でした。</p> <p>手足口病は定点当たり7.05人と前週(10.41)より患者報告数は減少しましたが、流行発生警報基準値(定点当たり5人)を超え、例年よりかなり高いレベルで推移しています。</p> <p>ヘルパンギーナは定点当たり2.52人と前週(2.94)より報告数は減少しましたが、例年よりやや高いレベルで推移しています。</p> <p>第33週については、お盆休みが重なり、多くの医療機関が休診であったため、全体的に患者報告数が少ない状況となっています。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 1件	結核 218件
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1件(O145)	腸管出血性大腸菌感染症 20件(O157 15件、O111 3件、O103 1件、O145 1件)、腸チフス 1件、パラチフス 2件
	4類感染症	なし	A型肝炎 4件、チクングニア熱 1件、デング熱 1件 マラリア 1件(三日熱)、レジオネラ症 5件(肺炎型)
	5類感染症	梅毒 1件 風しん 3件(検査診断例2件、臨床診断例1件) 麻しん 1件(検査診断例)	アメバ赤痢 15件、ウイルス性肝炎 8件(B型7件、C型1件) 急性脳炎 4件、クワイフェルト・ヤコブ病 2件(孤発性、遺伝性) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 8件 後天性免疫不全症候群 8件、ジアルジア症 1件、梅毒 14件 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件、侵襲性肺炎球菌感染症 11件 風しん 476件(臨床診断例114件、検査診断例362件) 麻しん 5件(臨床診断例2件、修飾麻しん1件、検査診断例2件) 髄膜炎菌性髄膜炎 1件



